

2023年3月期 第2四半期決算説明資料

2022年11月10日

1. ハイライト

2. 決算概要

3. 成長戦略

4. SDGs・サステナビリティへの取り組み

- **ファッション事業が好調に推移するも前年度における事業ポートフォリオ再編に伴う一部事業撤退ならびに上海市ロックダウンの影響によるマテリアル中国事業の売上減もあり、連結売上高は前年同期比で微増にとどまる。構造改革の進捗により固定費が圧縮され、営業損失は縮小**

- **連結売上高** 1,886百万円 (前年同期比 +85百万円 104.8%)
- **経費総額** 630百万円 (前年同期比 ▲17百万円 97.3%)
- **営業損失** 62百万円 (前年同期比 +37百万円 -%)

- **財務状況は新型コロナウイルス影響も健全な状態を維持**

- **現金及び現金同等物** 927百万円 (22年9月期末ベース)
- **流動比率** 500.7%
- **自己資本比率** 80.3%

1. ハイライト

2. 決算概要

3. 成長戦略

4. SDGs・サステナビリティへの取り組み

(単位：百万円)

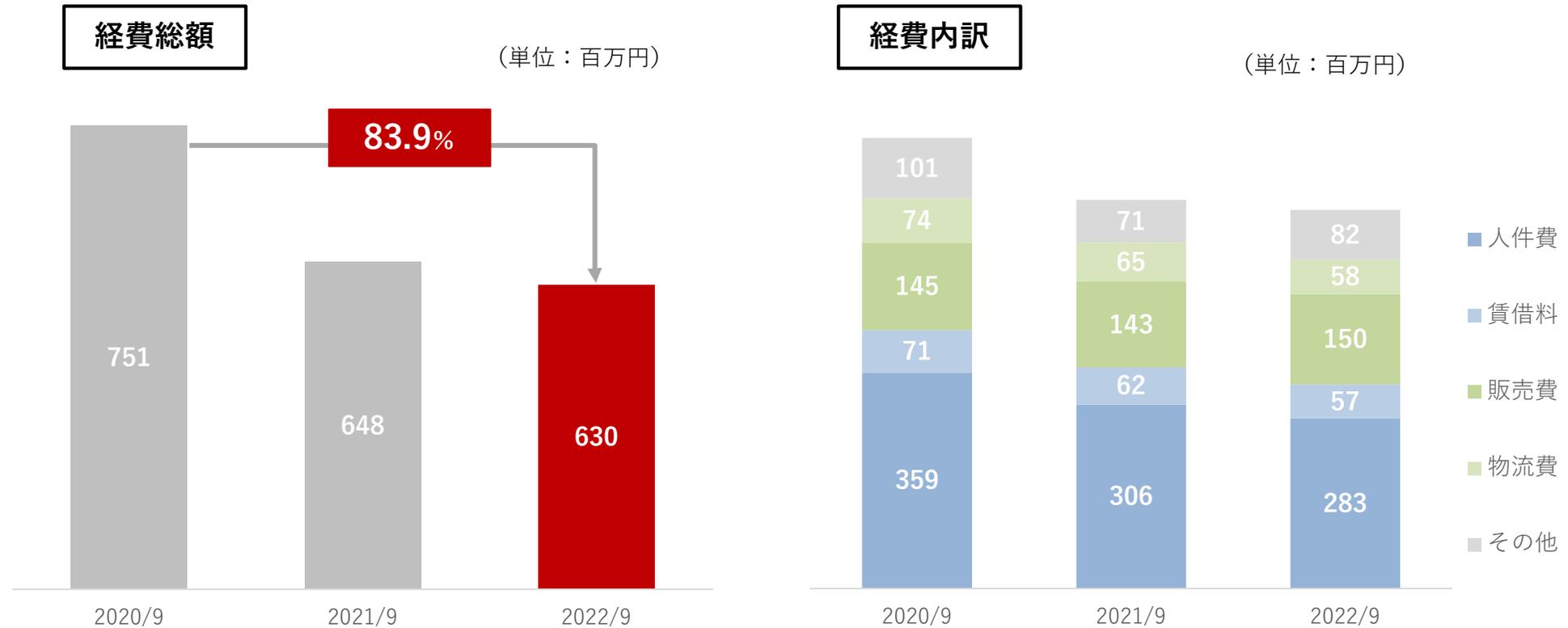
	2022年9月期	2021年9月期	前年同期比増減
売上高	1,886	1,801	104.8%
売上総利益	567	550	+17
販管費計	630	647	▲17
営業利益	▲62	▲97	+37
経常利益	▲41	▲95	+54
当期純利益	▲44	▲109	+65

- 前年度の一部事業撤退、上海市ロックダウンの影響もあり売上高は微増にとどまる
- 構造改革による固定費の圧縮などにより利益面は改善傾向
- 資金の有効活用による金利収入の増加 +18百万円
- 過年度法人税の戻入 5 百万を計上

販売費および一般管理費

事業ポートフォリオ再編ならびに生産性向上による固定費逓減を図るとともにD2C事業ならびにDXへの投資を実施

- 経費総計 2020/9比 83.9% 前年同期比 97.3%

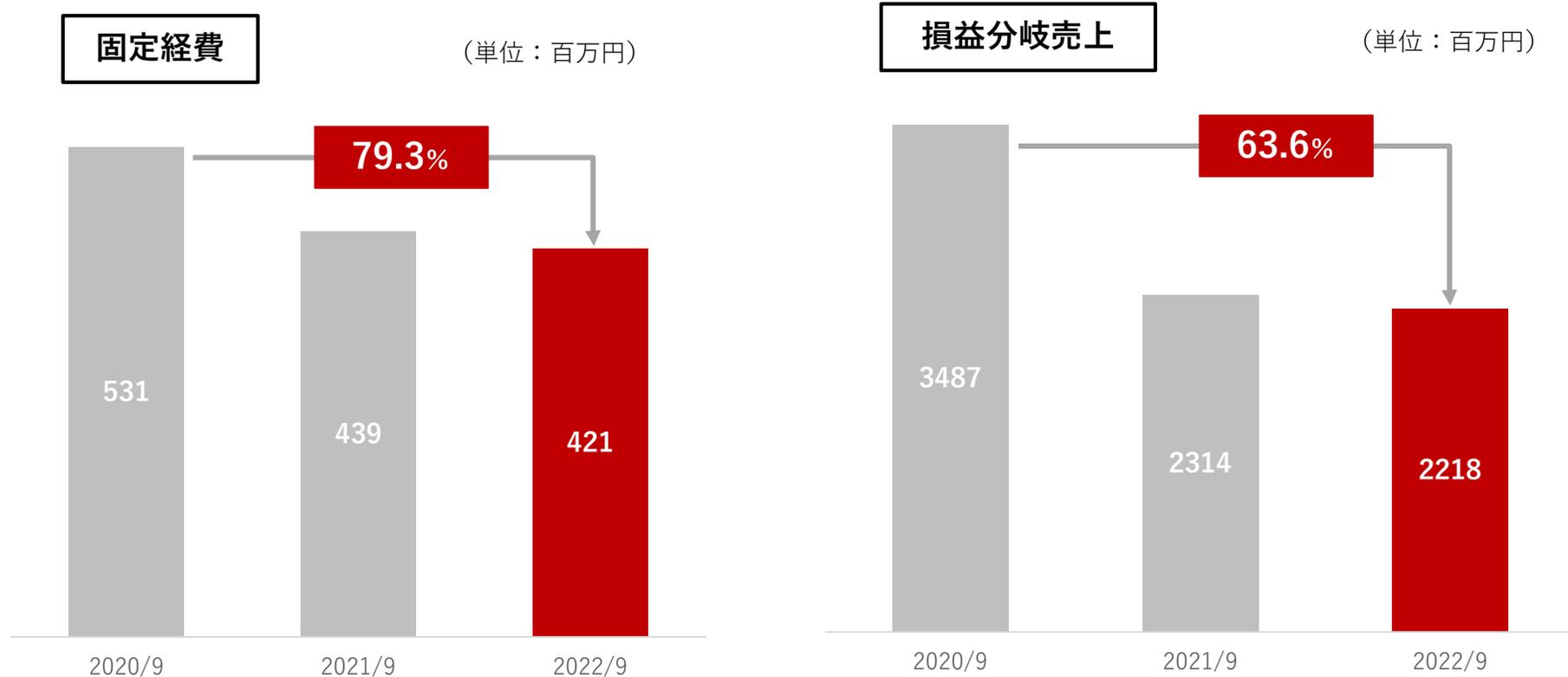


損益分岐売上

事業ポートフォリオン再編ならびに固定費の圧縮等の構造改革により収益構造が改善

- 固定経費 2020/9比 79.3% 前年同期比 95.9%
- 損益分岐売上 2020/9比 63.6% 前年同期比 95.8%

※損益分岐売上高：固定費 / 1 - (売上原価+変動費) / 売上収益



セグメント業績



(単位：百万円)

	売上高				営業利益		
	2022年9月期	2021年9月期	増減額	前年同期比%	2022年9月期	2021年9月期	増減額
連結	1,886	1,801	+85	104.8	▲62	▲97	+35
きもの (和装)	369	359	+10	102.3	▲19	▲20	+1
ライフスタイル (寝装)	173	211	▲38	82.0	11	2	+9
ファッション (洋装)	739	607	+132	121.7	14	▲8	+22
マテリアル (意匠撚糸)	604	622	▲18	97.0	26	9	+17
本社・調整	0	0	-	-	▲96	▲80	▲16

- きもの事業は催事集客の回復もあり売上伸長も販売費の増加により営業赤字
- ライフスタイル事業は構造改革により営業黒字拡大
- ファッション事業は売上回復ならびにベビー卸売事業撤退等の構造改革が利益貢献し営業黒字へ転換
- マテリアル事業は上海ロックダウンの影響を受け売上高前年同期比97.0%も営業黒字増加

決算概要：貸借対照表



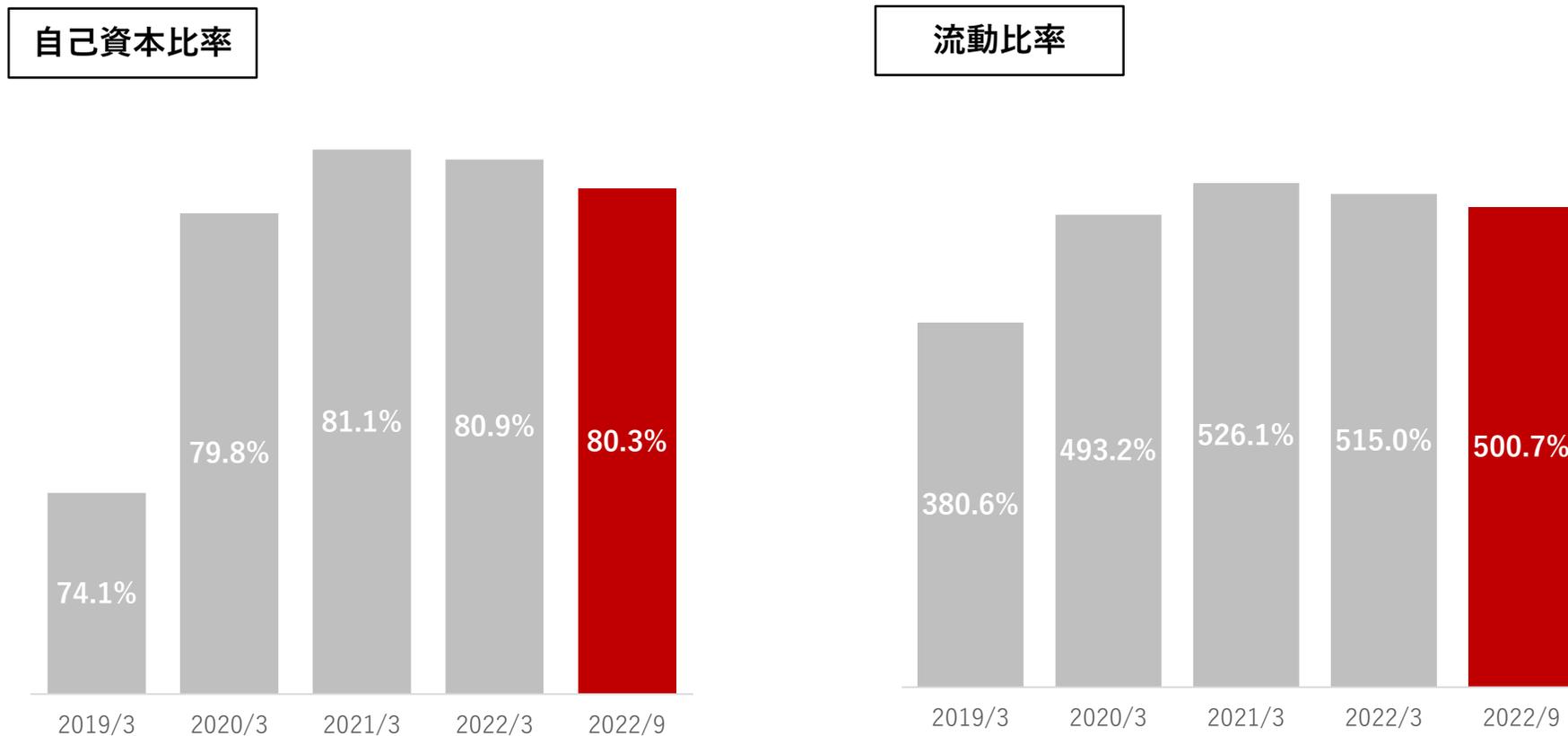
	2022年9月期	2022年3月期	前期比増減額
流動資産	3,649	3,639	+10
固定資産	182	182	—
資産合計	3,832	3,821	+11
流動負債	728	706	+22
固定負債	25	24	+1
純資産	3,078	3,090	▲22
負債純資産合計	3,832	3,821	+11

- 流動資産：現金及び預金1,180百万円が減少
- 短期貸付金1,000百万円、売掛金25百万円、商品及び製品49百万円増加
- 固定資産：敷金保証金が9百万円減少
- 負債：未払金27百万円、未払法人税10百万円減少
- 自己資本比率 80.3%

自己資本比率・流動比率



自己資本比率は80.3%、流動比率は500.7%と健全な水準を維持



1. ハイライト

2. 決算概要

3. 成長戦略

4. SDGs・サステナビリティへの取り組み

今期成長戦略骨子

■ 事業ポートフォリオ最適化

- 中長期視点での価値創造を前提とした事業の選択・集中・投資を継続的に推進

■ 糸へん事業への経営資源投下

- コスト上昇に対し、商材の価値を総合的に高めていく
- サステナブルの重要性は高まっており、様々なアプローチをしていく
- マテリアル上海事業ならびに中国内需向けの売上拡大に注力
- デジタルの重要性は高まっており、一方でリアル店舗の存在意義も問われている

■ モノ作りを推進するとともに直販（D2C）事業を構築

- マテリアル事業(糸)からの価値連鎖ならびに既存リソースを活用したモノづくりを推進
- モノづくりから販売に至るまでマーケティング施策を推進

■ 子会社の和装小物を扱う吉利を吸収合併し、堀田丸正きもの事業部へ統合



- 大物から小物まで取り扱う呉服総合卸として事業再構築
- 各取引先へのアップセル・クロスセルによる販売強化
- 販売管理システムを統合し、管理コストを低減
- 新規D2Cブランド“YOUTOWA”とのモノづくり・販売チャンネルにおける価値連鎖

きもの事業大型催事再構築

きもの事業大型催事Beauty of JAPANを東京・大阪で開催



- 東京 -

2023年2月17日(金)・18日(土)
ホテル雅叙園東京



- 大阪 -

2023年2月11日(土)・12日(日)
ウェスティンホテル大阪

- 東西別々の名称で実施していた各年1回の大型催事の名称をBeauty of JAPANに統一
- 会場を前年とは変更し、日本最大級のきもの催事へ
- 単なる商品展示販売会ではなく、リアルなチャネルならではの体験型催事として展開

マテリアル事業、中国向け輸出拡大

売上高前年同期比 **121.8%**



- 中国アパレルブランドにおいて、機能性ポリエステルを使用した軽量で防透け性・風合いに優れる日本製の糸の採用が拡大
- 中国現地法人である堀田（上海）貿易有限公司は、上海市ロックダウンの影響を受け、売上減となるも、ロックダウン解除に伴い現地での営業を拡大
日本製の糸の輸出ならびに日本の技術を活用した現地製造品販売の二軸で海外売上の拡大を図る

和糸を使ったインテリアグリーン PAPER CoCo

売上高前年同期比 **1118.1%**



- 明日見世、MIKKE、イオンモールなどPOP UP SHOPを積極展開
- オリジナルウッドスタンドの販売スタート
- ゴマ製品を製造する際に生じる「ゴマの表皮」を再利用したギフトBOXの展開スタート
- エアプランツを使ったPAPER CoCo Picoの販売スタート
- LINE公式アカウントの運用をスタート

既存の糸へん事業を背景とした4つのアパレルD2Cブランドをローンチ

発売済み



kanaÜa

赤ちゃんにとって一番心地よい洋服ってなんだろう？お世話をするママや保育士さんにとっても快適な洋服ってなんだろう？を、現役ママさんたちとともに形にしました。赤ちゃんにとってより良い未来を紡ぐため、環境に配慮したモノづくりにもこだわったベビー服ブラン。

11月発売



*UN-USELESS

”10年着てもへたれないタフなニット” 私達の考える新しい普段着としてのニットを再構築。年齢、性別、季節、流行に捉われない、ワードローブに加わる高品質なニットブランド

11月発売



YOUTOWA

せっかく民族衣装がある国に生まれたのだから、クローゼットには洋と和どちらかだけじゃないスタイルの広がりを作ってほしい。洋服にしか合わない、着物でしか使えない、どちらかだけでは「もったいない」。スタイルの境界線をフラットに、今日の気分で選ぶプラスワンアイテム

12月発売



ReCHARELL

Time less Age less Size less
早朝も夕暮れも夜更けも素敵なままで、自分に向き合う時間を丁寧に過ごしてもらうための服。自分のための輝く時間を再生するファッションブランド

1. ハイライト

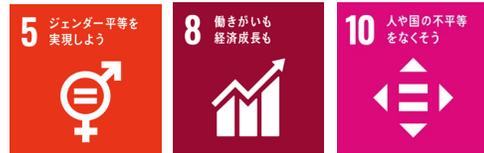
2. 決算概要

3. 成長戦略

4. SDGs・サステナビリティへの取り組み

SDGs・サステナビリティへの取り組み

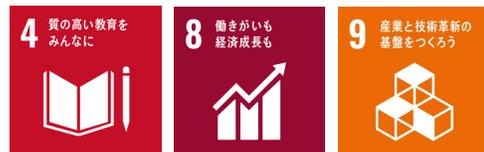
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- LGBTQなどの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」ゴールドを取得
- こどもの看護休暇の導入
- 育児短時間勤務制度・介護短時間勤務制度導入
- 介護休暇・介護休業・介護短時間勤務制度導入
- 育休・産休からの復職率100%
- 女性従業員比率 47.2%



- マテリアル事業：BCIコットンを積極採用。販売構成比24.5%※2022年3月期実績
- D2Cアパレル事業：エコテックス認証品を付属・副資材に採用 ※ReCHARELL・YOUTOWA・KanaUa
- D2Cアパレル事業：再生繊維（リヨセル、キュプラ）・リサイクルポリエステルを採用 ※ReCHARELL
- D2Cアパレル事業：廃材を再利用した下げ札を採用 ※UN-USELESS
- D2Cアパレル事業：植物由来の糊を使用し、機械乾燥ではなく自然乾燥のプリントを採用 ※KanaUa



- 公的資格・民間資格の取得に関する補助制度
- 人事制度を一新。MISSION STATEMENTの体現、プロセス・成果に基づく評価体制を導入
- 勤続年数によらない人材登用
- 定年再雇用制度導入
- 働き方改革（テレワーク制度の導入）



堀田丸正株式会社

Marusho hotta co.,Ltd.

免 責 事 項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。